

町内5学園 小中一貫教育本格実施！ 計画第2期最終年

小中一貫・CS 通信

NO.20 R2.11.30 幕別町教育委員会 学校教育推進員

最低気温がマイナスになる日が多くなりました。新型コロナが冬の訪れとともに感染拡大の勢いを増しステージ3になってしまいました。その中でも各校では感染防止策に工夫を凝らし、学習発表会の代替行事等に取り組んでいます。心配された修学旅行も11月下旬の複式4校合同修学旅行をもって全学校で無事終了しました。2学期もあと一月足らずです。「新しい日常」の取組を続け、激動の令和2年を乗り切っていきましょう。今月は、糠内学園とちゅうるい学園の動きを中心にお知らせします。

糠内学園運営協議会開催 10/30

10月30日(金)に第3回糠内学園運営協議会が開かれました。第1回をコロナ禍前の2月に開催し第2回は文書開催でしたので、異動による新メンバーでは初めての対面開催となります。

会議に先立ち、教育委員会から学校施設の長寿命化計画が説明され、その後、新しく運営協議会委員になった方に辞令が宮田学校教育課長から渡されました。

平野会長の開会挨拶で始まった運営協議会の会議には教育委員会職員も引き続き参加しました。続いて学園長が挨拶したあと議事に移りました。

議事では、はじめに副会長を選任したあと、学園の取組が報告されました。報告内容は、アップデートした学園方針、事業計画とその進捗状況、学園経営会議の様子、学園評価の結果、会計予算とその執行状況、改正された学園規約等です。いずれも了承されました。

意見交流では、「コロナ禍でも工夫しながら取り組んでいる学校に対してどのように協力できるか」という課題意識をもっている。「集まらない状況でつながっている感じがしない。こういう時代だからこそ人のつながりが大事だ。人のつながりを感じる取組が必要だ。」「方針のアップデートや規約改正など前向きな取組でとてもよい。」などの意見が出されていました。

感染対策もあり、会議はスピーディに短時間で終了しています。



学園授業研、工夫を凝らして開催！ 10/14 ちゅうるい学園

教室内の参観人数を制限



10月14日(水)、忠類小学校でちゅうるい学園授業研究が行われました。コロナ禍でなかなか人が集まりづらい状況ですが、感染対策に工夫を凝らして開催しました。マスク着用と授業前後の手洗いの徹底のほか、教室内の参観人数を制限、代わりに教室の前後に2台のカメラを設置し、別室のモニターを通して参観する形にしました。

この日、中学校は要請訪問の実施日でしたが、教諭1名が参加してくれました。授業後の話し合いでも、中学校の視点からの指摘があり、話し合いが深まりました。「学習規律が徹底されていることや全

(裏に続きます)

員が発表しようとしていることがとても良い。」との感想もいただき、互いに学びあうことができました。

話し合いの間中マスクを着けたままであるため、飲み物もできるだけ我慢しようと、涙ぐましい感染防止に取り組みながら学び合いました。

「コロナ禍だからできない」ではなく、実現するためにどう工夫するかを見せてくれたちゅうるい学園。今後の取組も大いに期待したいです。



定例経営会議で取組確認！ 糠内学園 11/5

11月5日(木)、糠内学園の定例経営会議が開催されました。学園の取組を毎月確認するための会議で、正副学園長の校長3人、事務局の教頭2人のほか、庶務・会計の事務職員1名がメンバーとなっています。この日は、10月に開催したICT活用研修の事後アンケートの件や乗入授業の様子など、各部会・各小部会での進捗状況を交流し、次の1か月の取組を確認しました。また、学園運営協議会の振り返りや教育委員会全員協議会の場での説明についても確認しました。さらに、次年度の経営方針、取組についても見通しをもつためにロードマップを確認するなど、早め早めの話し合いを行っています。

推進体制をしっかりと整え、小規模の強みを最大限生かして活動を進める糠内学園。ぜひとも参考にしたい実践です。(全員協議会の様子は12月号に掲載します。)

小中合同PTA研修会開催！ ちゅうるい学園 10/21



10月21日(水)の夜、忠類小学校体育館を会場にちゅうるい学園小中合同PTA研修会が開催されました。

昨年度に引き続き、北海道博物館の添田雄二学芸員を講師に招きました。昨年は、ナウマンゾウ発見50周年に関わるお話をしていただきましたが、今年は「近い将来に北海道東部太平洋沿岸で起こる巨大地震・津波」とのテーマで講演していただきました。

今後30年以内に起こるであろう巨大地震と津波について、地質学的裏付けと発生のメカニズム、予想される被害などを東日本大震災と関連させ教えていただきました。映像を交えた説明はとても分かりやすく、参加した30名は真剣に学んでいました。年齢を重ねても新たに学ぶべきことがたくさんあることを実感させられた研修会でした。

時節柄、会場を広い場所にして椅子の間隔を広く取り、換気にも十分気を配っての開催となりました。ここのところでもコロナ禍でたくさんの催しが中止になっていますが、町村ごと、地域ごとの状況をしっかりと把握し、開催するための手立てを探ることが大事になっています。コロナ禍がいつまで続くのか見通しをもてない今だからこそ、ちゅうるい学園のようにできる限りの工夫を検討する姿勢をもちたいものです。



令和2年度小中一貫教育・CS推進連絡会議（お知らせ）

日時 令和2年12月17日(木) 18:30～

実施方法 Zoomを活用したリモートによる会議（各学園各1会場と町教委会場）